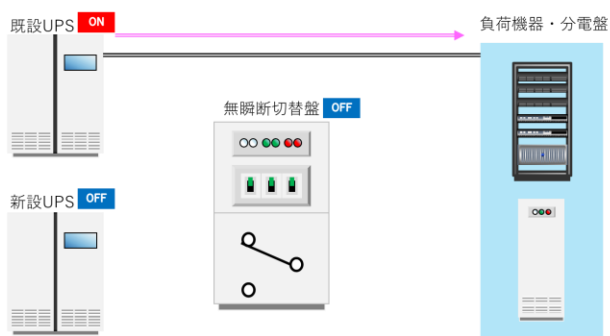


# 無瞬断切替工法の概要

「無瞬断切替工法」とは、無瞬断切替盤を用いて既設UPSの負荷を瞬断・停電無しで新設UPSへ切り替える事が可能な切替工法です。  
無瞬断切替工法の内容を簡略図と共にご説明します。

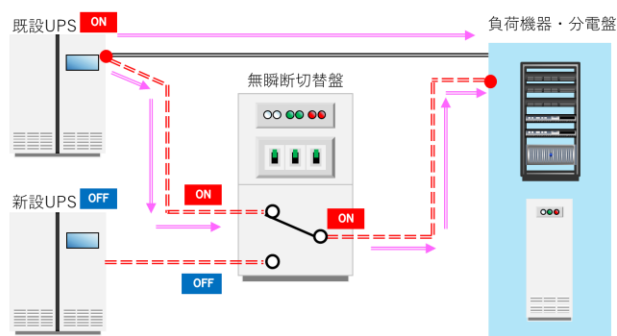
## 1 電源切替前（既設UPS電源）

既設UPS電源による負荷機器・分電盤への電源供給を行っている状態です。 ———：既設ケーブル



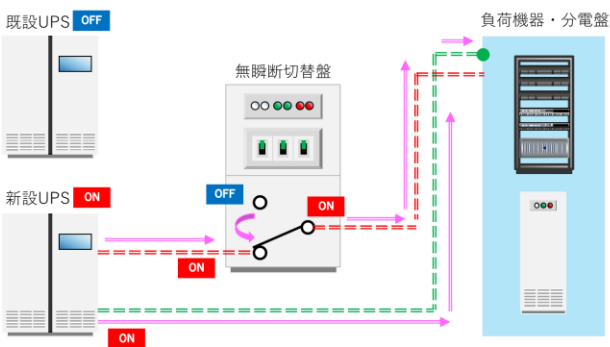
## 2 無瞬断切替盤の接続

既設UPS～負荷機器・分電盤間に無瞬断切替盤を介してループ電源供給を構成します。 ———：既設ケーブル  
-----：仮設ケーブル



## 3 無瞬断切替⇒新設ケーブル接続⇒仮設ケーブル・無瞬断切替盤撤去

既設UPS電源と新設UPS電源の無瞬断切替を実施します。 -----：仮設ケーブル  
-----：新設ケーブル  
新設UPS～負荷機器・分電盤間の仮設ケーブルを接続後、仮設ケーブルを撤去します。



## 4 電源切替後（新設UPS電源）

新設UPS電源による負荷機器・分電盤への電源供給を行っている状態です。 -----：新設ケーブル

